



花園大学

HANAZONO UNIV.

プレスリリース

2018 年 3 月 20 日

報道機関各位

本学歴史博物館で「圓福寺」展を開催

2018 年度春季企画展「圓福寺—京都八幡達磨堂 寺宝展—」を本学歴史博物館にて開催いたします。

雄徳山圓福寺（京都府八幡市、臨済宗妙心寺派）は、天明 3 年（1783）、斯経慧梁の発願により、大応国師（南浦紹明）を開山に迎え建立されました。創建時に石清水八幡宮別当田中家から託された「達磨像」（重要文化財）を安置していることから「達磨堂」と称され、古くから八幡の人々に信仰されてきました。

このたび歴史博物館では、禅文化研究所とともに、圓福寺に蔵される文化財の調査を行う機会を得て、はじめて本格的に公開できる運びとなりました。歴世住持遺墨など寺史関連資料のほか、有栖川宮家ゆかりの品々なども展覧して圓福寺の歴史、宗風を概観します。また、圓福寺の歴史のなかで育まれた中世から近代にいたる美術作品の優品をご紹介します。

※内容の詳細につきましては別添の資料をご確認ください。

- ・開催日程：4 月 3 日（火）～6 月 2 日（土）
- ・場所：花園大学 歴史博物館（無聖館 4 階）
- ・発信枚数：5 枚（本書含む）

【本件に対する問い合わせ】

名称：花園大学

住所：京都市中京区西ノ京壺ノ内町 8-1

担当者：入試課 広報担当 菅江 隆一

電話番号：075-823-0588

E メール：r-sugae@hanazono.ac.jp

圓福寺

— 京都八幡達磨堂寺宝展 —

2018年

4月3日〔火〕— 6月2日〔土〕

前期 4月3日〔火〕— 5月5日〔土祝〕 後期 5月7日〔月〕— 6月2日〔土〕

※全期中、大幅な作品の展示替えを行います。

休館日 日曜日、4月30日〔月祝〕、5月1日〔火・2日水〕

※但し、大学行事により臨時休館する場合があります。

開館時間 10時—16時（土曜日は14時まで） 入館料 無料

主催 花園大学歴史博物館、公益財団法人 禅文化研究所 協力 圓福寺（京都府八幡市）

花園大学歴史博物館（無聖館4階）

達磨図「部分」 伝宮本武蔵筆 江戸時代（十七世紀） 圓福寺（展示期間：後期）

Masterpieces of Zen Culture from
EMPUKUJI



- 1 墨蹟 初祖入像供養拈香 斯經慧梁筆
江戸時代・天明4年(1784)【後期】
- 2 墨蹟 題圓福寺 東嶺圓慈筆 江戸時代(18世紀)【前期】
- 3 墨蹟 茶所上棟銘 海門禪格筆
江戸時代(18~19世紀)【前期】
- 4 羅漢圖 伝柳沢淇園筆 江戸時代(18世紀)【後期】
- 5 達磨図 真嶺宗乘賛 雲谷等益筆
江戸時代(17世紀)【後期】
- 6 双蛇図 春叢紹珠自画賛 江戸時代(18~19世紀)【後期】
- 7 斯經慧梁像 自賛 江戸時代・天明6年(1786)【前期】
- 8 地藏三尊像 南北朝時代(14世紀)【後期】
- 9 関 有栖川宮威仁親王筆 明治43年(1910)【前期】
- 10 面壁達磨図【部分】 東嶺圓慈自画賛
江戸時代(18世紀)【後期】

Masterpieces of Zen Culture from EMPUKUJI

花園大学歴史博物館

〒604-8456 京都市中京区西ノ京壺ノ内町8-1
tel.075-811-5181(代) fax.075-811-9664
http://www.hanazono.ac.jp



〈交通案内〉●京都駅より/JR嵯峨野線「円町駅」下車徒歩8分、市バス26・205「太子道」下車徒歩5分 ●京阪三条駅より/京都市バス63・64・65「西ノ京馬代町」下車徒歩2分、地下鉄東西線「西大路御池駅」下車徒歩12分 ●阪急西院駅より/市バス26・27・特27・91・202・203・205「太子道」下車徒歩5分
※駐車場がございますので、お車でのご来場はご遠慮ください。

大法因縁有所謂片同祖像此相移
江湖場就將如願為道忘施更是誰
大日本國山城州級喜郡八幡御雄德
山圓福禪寺已傳僧舍新成寺委誰
奉安聖中圓覺大師靈像此奉出
自緣起意深不勞錄陳家人所知
奇哉梵坊頓化現勿言假城非實處
總感談法之冥助何必願力之維持山
中聚首底齊視雲水英衲室內執柄
者精選湖海名編布面澆李宗弊
永存上古風現然大厦之泰美立一
木之所支都幹從頭薩陽木貫將功
就已極信慈是浪花人事見義勇
為家嚴阻事佛闕供養延於九淵
親修祭祠願起小比丘容易級無
詞拈此崑崙耳聊奉酬鴻慈恭
惟 圖覺大師辨珠在掌懸鑑
無私分身十方知春風固高下全跡
三國似山月示盈虧布有難思議同
體大慈悲包荒神量撫育六宗破
執之龍象越格妙用接待三拜授
位之獅兒加錫上官潤色日邦也全因
我祖勸誘之嗚呼霞霞後見流通正
法底一句子畢竟如何敷演臨將不欠
茶飯外松間自有採菌時
天明四年九月 慧宗 拜稿

上棟銘曰
接待應須
慣趙州
喫茶去必
莫建留
有人若問
臺山路
不陟言論
示指頭

願福寺
吳名寺
本新到更禪十
師師十師師
風備整潔分毫
漸跟付
東夜

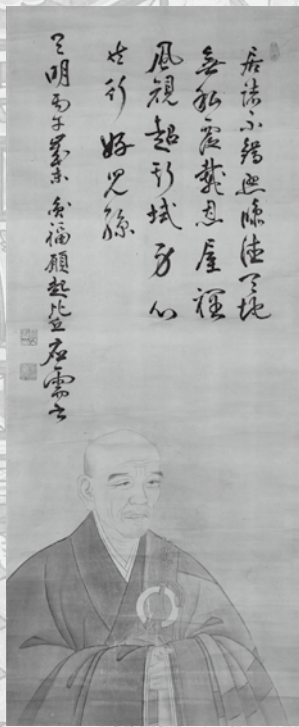
雄徳山圓福寺(京都府八幡市、臨濟
宗妙心寺派)は、天明三年(一七八三)、
斯經慧梁(扶宗大綱禪師、一七二一〜
一七八七)の発願により、大応国師(南
浦紹明、一二三五〜一三〇八)を開山に
迎へ建立されました。創建時に石清水
八幡宮別当田中家から託された「達磨
像」(重要文化財)を安置していること
から「達磨堂」と称され、古くから八
幡の人々に信仰されてきました。
江湖道場として斯經慧梁が圓福寺に
興した僧堂では、現在もその教えを受
け継ぎ、多くの雲水がその禅風を守り
つつ修行に励んでいます。また中興・海
門禪格(一七四三〜一八二三、円通妙覺
禪師)の尽力によつて、庫裡や旧禅堂、
山門などの主要な堂宇が建立され、さ
らに、圓福寺十四世・宗般玄芳(一八
四八〜一九三三)は有栖川宮威仁親王(一
八六二〜一九三三)の帰依を受け、深い
交流がありました。

このたび、禅文化研究所とともに、
圓福寺に蔵される文化財の調査を行う
機会を得て、はじめて本格的に公開で
きる運びとなりました。歴世住持遺墨
など寺史関連資料のほか、有栖川宮家
ゆかりの品々なども展覧して圓福寺の歴
史、宗風を概観します。また、圓福寺
の歴史のなかで育まれた中世から近代に
いたる美術作品の優品をご紹介します。



圓福寺

京都八幡達磨堂 寺宝展



花園大学歴史博物館 2018 年度春季企画展

開催要項

- 1 展覧会名称 圓福寺—京都八幡達磨堂 寺宝展—
Masterpieces of Zen Culture from Empukuji
- 2 展覧会趣旨 雄徳山圓福寺（京都府八幡市、臨済宗妙心寺派）は、天明3年（1783）、斯經慧梁（扶宗大綱禪師、1722～1787）の発願により、大応国師（南浦紹明、1235～1308）を開山に迎え建立されました。創建時に石清水八幡宮別当田中家から託された「達磨像」（重要文化財）を安置していることから「達磨堂」と称され、古くから八幡の人々に信仰されてきました。
江湖道場として斯經慧梁が圓福寺に興した僧堂では、現在もその教えを受け継ぎ、多くの雲水がその禪風を守りつつ修行に励んでいます。また中興・海門禪恪（1743～1813、円通妙覺禪師）の尽力によって、庫裡や旧禪堂、山門などの主要な堂宇が建立され、さらに、圓福寺十四世・宗般玄芳（1848～1922）は有栖川宮威仁親王（1862～1913）の帰依を受け、深い交流がありました。
このたび、禪文化研究所とともに、圓福寺に蔵される文化財の調査を行う機会を得て、はじめて本格的に公開できる運びとなりました。歴世住持遺墨など寺史関連資料のほか、有栖川宮家ゆかりの品々なども展観して圓福寺の歴史、宗風を概観します。また、圓福寺の歴史のなかで育まれた中世から近代にいたる美術作品の優品をご紹介します。
- 3 出品作品 斯經慧梁像 自賛 江戸時代・天明6年（1786）【前期】
墨蹟 初祖入像供養拈香 斯經慧梁筆 江戸時代・天明4年（1784）【後期】
墨蹟 題圓福寺 東嶺圓慈筆 江戸時代（18世紀）【前期】
墨蹟 茶所上棟銘 海門禪恪筆 江戸時代（18～19世紀）【前期】
双蛇図 春叢紹珠自画賛 江戸時代（18～19世紀）【後期】
地藏三尊像 南北朝時代（14世紀）【後期】
釈迦三尊像 室町時代（15世紀）【前期】
十六羅漢図 室町時代（15世紀）【前期】
達磨図 真巖宗乗賛 雲谷等益筆 江戸時代（17世紀）【後期】
羅漢図 伝柳沢淇園筆 江戸時代（18世紀）【後期】
寿字圓頓章 白隠慧鶴筆 江戸時代・明和4年（1767）【前期】
楞嚴会曼荼羅 江戸時代（18～19世紀）【前期】
龍図 村上東洲筆 江戸時代・文化9年（1812）【後期】
虎図 近藤樵仙筆 昭和13年（1938）【後期】
関 有栖川宮威仁親王筆 明治43年（1910）【前期】
仏 徳川実枝子筆 昭和3年（1928）【後期】
など81件（展示資料はすべて圓福寺の所蔵）
- 4 主 催 花園大学歴史博物館、公益財団法人 禅文化研究所
- 5 協 力 圓福寺（京都府八幡市）
- 6 会 期 2018年4月3日（火）～6月2日（土）
※会期中、大幅な作品の展示替を行います。
前期：4月3日（火）～5月5日（土・祝）
後期：5月7日（月）～6月2日（土）
- 7 休 館 日 日曜日、4月30日（月・祝）、5月1日（火）・2日（水）
※但し、大学行事により臨時休館する場合があります。

- 8 会 場 花園大学歴史博物館（無聖館 4 階）
- 9 開 館 時 間 10：00～16：00（土曜日は14：00まで）
- 10 入 館 料 無料
- 11 担 当 者 花園大学歴史博物館
館長 福島恒徳
研究員 志水一行、荻山愛華、坂井智恵
公益財団法人 禅文化研究所
主幹 西村恵学

連絡先 花園大学歴史博物館・入試課広報担当
〒604-8456 京都市中京区西ノ京壺ノ内町 8-1
＜花園大学歴史博物館＞
TEL（075）811-5181（代）
FAX（075）811-9664
＜花園大学入試課広報担当＞
TEL（075）277-1331
FAX（075）823-0589